

美瑛岳

美瑛町立美瑛中学校
学校だより
令和3年6月号

もうひとつの挑戦

校長 鈴木 薫

先月号で、コロナ禍における教育活動の工夫を今年度も行うとして「新たな挑戦Part2です。」と記載しました。本校では今年度、もうひとつ挑戦を行っています。それは、1年生の2学級を、これまで担任、副担任としていた従来の方法ではなく、1年生担当の4名の教諭を全員担任とした「全員担任制」を導入したことです。クラス関係なく、4名が対等の担任です。こんな取組をしている学校は道内の公立小中学校では本校だけかもしれません。(全国的、道内私立学校では取り組んでいるところがあるらしい)

本校はすべての子どもをすべての先生で育てようとして取り組んできています。また、どの教師、どの学年も本校が目指している方向性に基づき、生徒一人一人の特性やニーズに応じた対応をとることを求めています。そのため、生徒の交流を毎月全職員で行い、指導の方針や対応について、確認する会議も行っています。今回の「全員担任制」はそれを一歩進め、すべての先生で育てることを全員担任というシステムにも取り入れたこととなります。メリットとして、チームで取り組むという意識が徹底されることで、子どもにとって最適な対応がこれまで以上に可能となる。複数の目で見ることで、子どもの変化の察知が早くなる。子どもや保護者が教師を選択できる。若い先生を育てることができる。などたくさんあります。課題は、はじめから分かっていたましたが、情報を共有することでした。朝の打ち合わせ以降、なかなか打ち合わせをする時間がない現場ですが、学年ライングループ、掲示板、電子掲示板のグーグルジャムボードなどを活用し、多くの工夫をしているようです。

今年度、従来通りの担任・副担任制を行っている2・3年生も、全員担任制で考えられる良さを取り入れることになっています。この「全員担任制」は今年度1年実施し、様々な方向から検証を行い、来年度以降の方向性を出す予定です。

5月20日に緊急事態宣言が発せられ、5月29日に予定していた本校の体育祭は延期を余儀なくされました。そういった学校行事は延期・中止・縮小を求められたからです。昨年に引き続き今年度もやっぱりそういった状況になりました。ただ昨年と違うのは、「できるだけ中止せず、目的を達成するよう工夫すること」となっていることです。体育祭は7月3日としています。晴れてほしい。コロナ減ってほしい。あまり暑くならないでほしい。いつもより多くのお願いが必要です。

美瑛中トピックス

～中体連陸上大会～

6月11日に、旭川花咲陸上競技場で、2年ぶりとなる中体連陸上大会が開催され、本校から8名の選手が出場しました。当日は、最高気温が32度に迫る中、精一杯の力を発揮して、競技に臨んでいました。共通女子4×100mリレーでは見事5位入賞、個人でも3名の選手が入賞を果たしました。



～コキアの定植に楽しく取り組みました！～

2、3年生技術の授業で、学校前環状通の植樹柵に、コキアの苗植えを行いました。例年は、美瑛中学校コミュニティースクールの皆様、ボランティアの皆様にお手伝いいただいておりますが、今年度は緊急事態発令中のため、生徒たちの手を借りて植えました。



今年度は神社前まで植樹柵を整備していただき、500mの環状通は、「コキア通り」になりました。秋には葉が赤く色づいた、ふわふわのコキアが一直線に並ぶ姿が、今から楽しみです。



【体育祭について】

緊急事態宣言のため、延期していた体育祭が7月3日(土)に本校グラウンドで開催されます。校内では体育祭成功に向けて、練習や準備が進んでいます。例年は保護者や地域の皆様に応援をいただいているところですが、今年度は「ご家族の方限定」等の入場制限を検討しております。ご理解をよろしくお願いいたします。



なお、6月25日～27日に開催される中体連地区大会は、今年度は無観客での実施となりましたので、お知らせいたします。